

岡山市区づくり推進事業報告書  
(地域活動部門)

平成 31 年 3 月 25 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ だいにふじたがっくだいきぎほさいがいまくいいんかい  
団体名 第二藤田学区大規模災害対策委員会

所在地

連絡先

フリガナ いんちよう えんどう たらう  
代表者役職・氏名 委員長 遠藤 太郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください)  <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決  <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し  <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり  <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり  <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>大規模災害に備える安全安心な二藤作り</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>第二藤田学区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。          ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。          アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>学区民の災害に対する意識調査に基づき、研修・訓練内容について検討してきた。訓練内容も学区全体での訓練だけでなく、より身近な範囲での訓練として図上訓練(DIG)を3町内を指定しておこない、地域の危険箇所や避難場所、避難経路などのシュミレーションをおこなった。9月には淡路島北淡震災記念館への視察研修をおこなった。また、今年度は町内会長、小学校・こども園からの防災アンケートをおこないそのアンケートに基づき、区役所との懇談もおこなった。</p> <p>防災意識向上のために、どんぶらこまつりやウオーキングでの展示・訓練をおこなった。</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>昨年度は自主防災会の結成がなかった。この点での前進を図るべく取り組み、新たに2町内会で自主防災会の結成を見ることができた。</p> <p>行政との懇談を通じて地域の安全対策について共有するよう取り組んだ。</p>



<p style="writing-mode: vertical-rl;">③目的・目標の達成状況</p>	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況  イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等  ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等  エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況  オ その他⇒定めた目標の達成状況</p> <p>など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <p>自主防災会結成という課題から見れば、まだ大きく立ち後れている。やっと新たに2町内で結成された。このことを通じて、他の町内での結成の促進を図る。</p> <p>今回取り組んだアンケートは、各地域の具体的な要望や意見とともに、豪雨災害を通して避難所・避難場所に対する要望も上がってきた。</p> <p>図上訓練をおこなったことで、町内会や近所での訓練の必要性を強く認識する感想も出され、地域の安全に対する意識の向上に役立った。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">④企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>二藤全体での避難訓練と同じことの繰り返しになったり、参加者が限られることになることから訓練を小さい単位で具体的に取るよう図上訓練も3町内でおこない、他の町内会員が見学するなど実践的な訓練を行うようにし、身近なものにするよう努めた。</p> <p>また、各行事に際しては実行委員会を開催し、学区内の各種団体の方に参加していただき、保育園の保護者会や子ども会、PTAの役員など若い方々の参加をとりわけ重視した。</p> <p>二藤どんぶらこまつりなど多くの方が参加する取り組みにも防災コーナーを設置。防災のチラシも作成し防災意識向上を図るよう取り組んだ。</p> <p>消防署の協力を得ることだけでなく協立病院などの協力を得るなど、医療機関など各種団体との連携もすすめている。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl;">⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>学区全体の取り組みとして、避難所運営ゲームを実施し、災害時の対応を訓練する。</p> <p>町内会単位での防災教室の実施も行い、自主防災会結成の気運を高めるよう努める。</p> <p>自主防災会については、年度初めから町内会で議論してもらい、役員構成など具体化し、結成を進める。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>町内会長の多くが1年で交代するという現状の中で、二藤全体での取り組みを継続するには多くの努力が求められる。その為に、災害対策委員会のメンバーは町内会長のとらわれず、地域で継続して取り組むことが出来るようメンバーの構成を進めている。</p> <p>メンバーの中で特に留意していることは、若い方の参加である。二藤のまつりや各種行事などを通じてこうした若い方々の力を発揮してもらおうことである。</p> <p>町内会長などのアンケートに基づく区役所との懇談などを通じて一層地域の防災に対する意識向上をはかることが求められる。</p>
	<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <p>自主防災会の結成目標達成に向けた取り組みの強化はもとより、南区内で長年継続している他地域の防災訓練の内容等も参考にして、地域住民の防災意識向上や安全安心な地域作りを推進していただきたい。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>自主防災会結成町内会が2町内にとどまった。他学区町内会で実施していた図上訓練は実施した。来年度は他学区との交流、HUGを実施する予定。</p> <p>(理由： )</p> <p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた ③ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>

## ⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
30年5月15日	第二藤田学区大規模災害対策委員会総会
6月5日	町内会長会議にて昨年実績と今年度の方針を説明
6月15日	役員会にて避難訓練とどんぶらこまつりの検討
7月1日	DIGの実施
15日	淡路島への研修内容の検討
8月11日	大規模災害対策委員会開催 町内会長へのアンケートについて検討し、実施する。 どんぶらこまつりへの展示と実演の検討
9月10日	どんぶらこまつりと併せて検討会議
24日	淡路島北淡震災記念館へ研修
10月7日	どんぶらこまつりに防災用品の展示と非常食の試食および説明
14日	今年の見組みの中間報告と来年度の見組みについて検討
11月15日	来年度申請への検討
31年1月15日	ウォーキング実行委員会
3月24日	ウォーキングと炊き出し訓練実施

## ⑩ 収 支 決 算 書

### ◆ 収 入

(単位:円)

費 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	210,000	210,000	
協賛金	0		
負担金	45,000	39,000	視察参加費@1,000円
広告料	50,000		
寄付、他収入	152,475	226,897	連合町内会他
計	457,475	475,897	

### ◆ 支 出

(単位:円)

費 目	予 算 額	決 算 額		内 容 (必ず記載してください)
		総事業費額	補助対象額	
消耗品費	85,275	51,780	51,780	インク、ラミネート他
食糧費	45,000	51,058	42,058	視察時昼食代他
印刷製本費	15,000	2,185	2,185	会議資料印刷代他
燃料費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
通信運搬費	12,000	1,804	1,804	会議案内葉書
広告料	0	0	0	
手数料	0	0	0	
使用料・賃借料	35,000	25,200	24,500	北淡震災記念公園入館料
原材料費	5,000	0	0	
委託料	0	0	0	
工事請負費	0	0	0	
報償費	15,200	18,000	18,000	図上防災訓練等講師
保険料	15,000	0	0	
旅費	230,000	325,870	325,870	視察バス代他
計	457,475	475,897	466,197	